

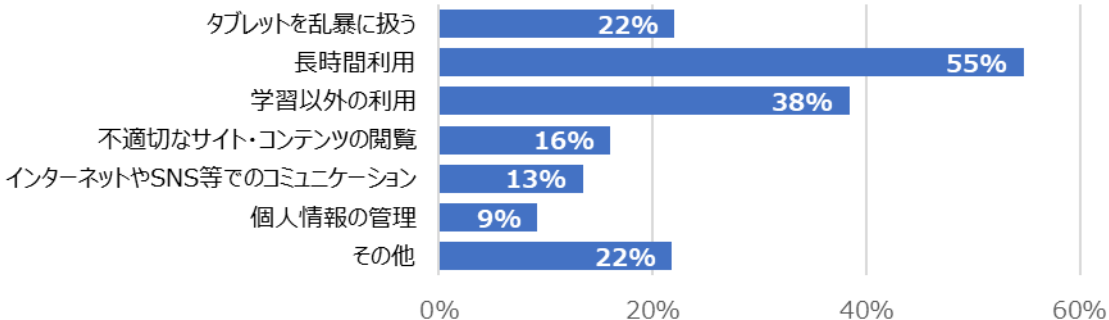
文部科学省委託「GIGAスクールにおける学びの充実」 情報モラル教育推進事業 —啓発コンテンツ全体概要—

■ 概要

文部科学省では、学校や家庭内における情報モラルに関する指導の一層の充実を図るため、児童生徒の家庭での端末利用に関する調査を行いました。
この度、児童生徒の端末利用において、保護者が特にルールを守れていない・望ましくない使い方と感じている児童生徒の端末利用に関して、2本のアニメ動画教材を作成しました。
保護者も一緒に考えられる内容のため、児童生徒の宿題や保護者説明に是非ご活用ください。

家庭での情報機器利用で守れていないルール・望ましくない使い方

※本事業による
保護者調査から抜粋



教材② 端末を用いて家庭学習を行う

■教材のねらい（低学年向け） 対象:小学1年生～小学4年生
GIGAスクール構想により整備された学習用端末に関して、学校及び家庭での適切な使い方等について子供たち自身に考えさせる必要があります。
本教材では、**家庭内での端末の使い方について**、これまでの自身の使い方を振り返りながら**端末を丁寧に扱うことに関する注意事項、怪しいウェブサイトの特徴**について考える内容となっています。

教材③ チャットツールを用いた協働学習

■教材のねらい（高学年向け） 対象:小学5年生～中学1年生
近年、グループチャット含めたSNS等への書き込みによるトラブルが大きな社会問題となっており、子供たち自身も加害者や被害者になる可能性が問題視されています。
本教材では、**学習用端末を用いたグループチャットに関して**、情報の送り手側（主人公）の立場から**情報を発信する際の注意点や長時間利用をしないために気を付けること**について考える内容となっています。

■ 本教材の構成と活用のポイント（各作品 約8分）

① オープニング

保護者の方にも端末を用いた家庭での効果的な学習についてご理解いただける導入となります。

② トラブル発生

トラブルの発生から、「あれ？と思うような端末の使い方」がないか、普段の端末の使い方を振り返るようアナウンスが入ります。

③ 使い方の振り返り

普段の使い方の回想シーンから、「あれ？と思うような端末の使い方」について動画を止め、児童生徒に考えさせる内容となります。

※低学年向け・高学年向け共に構成内容は同じとなります。

④ 問題解決

端末利用の際に気を付ける事項に関して、解説を行います。児童生徒が主体的に考えられるような発問も含まれています。

⑤ エンディング

気を付けて端末を利用するようになったことで、端末を用いたより効果的な主人公の様子を描いています。

活用のポイント

「〇〇してはいけない」という禁止事項を教えるだけでなく、「学習端末を上手に使う方法を一緒に考えてみよう」と前向きな姿勢で様々な意見を交えて考えてもらう事が重要になります。

文部科学省委託「GIGAスクールにおける学びの充実」 情報モラル教育推進事業 —低学年向けコンテンツについて—

動画はこちら

②端末を用いて家庭学習を行う（小学1年生～小学4年生）



<https://youtu.be/cWqbmW8uUnA>

<コンテンツ概要>

GIGAスクール構想により整備された学習用端末に関して、学校及び家庭での適切な使い方等について子供たち自身に考えさせる必要があります。

本教材では、**家庭内での端末の使い方について**、これまでの自身の使い方を振り返りながら**端末を丁寧に扱うことに関する注意事項、怪しいウェブサイトの特徴**について考える内容となっています。**保護者も一緒に考えられるコンテンツ**となりますので、家庭での宿題や保護者説明にご活用ください。

対象学年： 対象:小学1年生～小学4年生

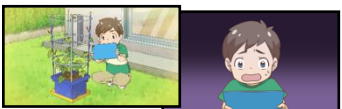
■ 動画の構成 教材② 『端末を用いて家庭学習を行う』

展開

内容

動画のポイント

①オープニング ②トラブル発生



- ・場面説明及びトラブル発生
 - ✓ 主人公のハルトは学習用端末を用いることで効果的な家庭学習を実施
 - ✓ ある日、カメラを使おうとするが映らないことに気が付く

- ・保護者の方にも学習用端末の利用例を理解いただけるオープニングとなっています。
- ・展開③に入る前に「あれ？と思うような端末の使い方がないか、確認してみましょう。」と発問が入ります

③使い方の振り返り



- ・トラブル解決後、お母さんと普段の端末の使い方を振り返るハルト。そこには次のような姿が見られる
 - ✓ 怪しい広告をクリックしてしまう
 - ✓ 整理されていない場所で利用し、端末にジュースをこぼす

- ・保護者・児童が話し合いをできるよう、回想シーンの後に以下の発問が入ります。
「あれ？と思うような使い方はなかったかな？
動画を一度止め、考えてみよう。」

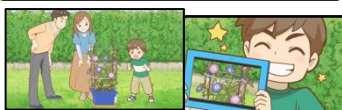
④問題解決



- ・お母さんが下記に関して解説
 - ✓ 端末を丁寧に扱うことに関する注意事項
 - ✓ 怪しいウェブサイトの特徴

- ・児童に主体的に考えるよう、下記の発問が入ります
「汚い机の上で利用すると、どんなことが危ないかな？」
「どんなことを聞いてくるウェブサイトだと怪しいのだろう？」

⑤エンディング



- ・不審なサイトの特徴や端末の扱い方について学習したハルト
- ・上手に端末を活用した学習に取り組む

- ・上手に端末を利用することで、より効果的な学習ができている主人公の様子が描かれています。

文部科学省委託「GIGAスクールにおける学びの充実」 情報モラル教育推進事業 -高学年向けコンテンツについて-

動画はこちら

③チャットツールを用いた協働学習（小学5年生～中学1年生）



<https://youtu.be/8-Mar63vbJE>

<コンテンツ概要>

近年、グループチャット含めたSNS等への書き込みによるトラブルが大きな社会問題となっており、子供たち自身も加害者や被害者になる可能性が問題視されています。

本教材では、**学習用端末を用いたグループチャットに関して**、情報の送り手側（主人公）の立場から**情報を発信する際の注意点**や**長時間利用をしないために気を付けること**について考える内容となっています。**保護者も一緒に考えられるコンテンツ**となりますので、家庭での宿題や保護者説明にご活用ください。

対象学年： 対象:小学5年生～中学1年生

■ 動画の構成 教材② 『チャットツールを用いた協働学習』

展開

- ①オープニング
- ②トラブル発生



③使い方の振り返り



④問題解決



⑤エンディング



内容

- ・場面説明及びトラブル発生
 - ✓主人公のメイはクラスチャットを用いることで友達と協働してダンス練習を実施
 - ✓ある日、クラスチャットが陰悪な雰囲気であることに気付く

- ・トラブル解決後、お母さんと普段の端末の使い方を振り返るメイ。そこには次のような姿が見られる
 - ✓チャットでのミスコミュニケーションが発生してしまった
 - ✓夜遅く、長時間端末を利用している

- ・お母さんが下記に関して解説
 - ✓メッセージを送る際に気を付けること
 - ✓長時間利用をしないために気を付けること

- ・メッセージを送る際に気を付けることや長時間利用をしないために気を付けることについて学習したメイ
- ・上手に端末を活用した協働練習に取り組む

動画のポイント

- ・保護者の方にもクラスチャットを用いた協働学習の利用例を理解いただけるオープニングとなっています。
- ・展開③に入る前に「あれ？と思うような端末の使い方がないか、確認してみましょう。」と発問が入ります

- ・保護者・児童生徒が話し合いをできるよう、回想シーンの後に以下の発問が入ります。
「あれ？と思うような使い方はなかったかな？
動画を一度止め、考えてみよう。」

- ・児童生徒に主体的に考えるよう、下記の発問が入ります
「メッセージを見て、友達は何とってしまったのだろう？」
「端末を使いすぎないため、皆でどんなことを意識したら良いと思う？」

- ・上手に端末を利用することで、より効果的な学習ができている主人公の様子が描かれています。